



じしゅう とうこうさん
時宗 東岡山

福田寺だより



ホーム
ページ



LINE
公式



イン
グラム

「お施餓鬼を終えて」

【花まつり: 6日(日)14時~】

【写経会: 26日(土)14時~16時受付】

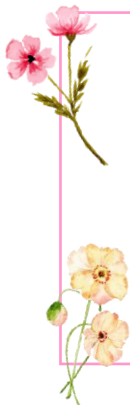
用具は貸出あり。手ぶらでも大丈夫です。

お彼岸が過ぎ、新年度を迎えました。先日の春季彼岸施餓鬼法要は 22 名のご出席がありました。今回、初めて住職、導師として故人様、ご先祖様のご回向をさせていただきました。法要の最後の挨拶でも申し上げましたが、「施餓鬼」の意味するところは「有縁無縁のあらゆる精霊を供養する」であり、もう少し身近に表現すると「あらゆる先人に思いをはせる」という意味になるかと思えます。この法要で使用する「施餓鬼壇」は、明治期に住職を勤めた 39 世・加納法順和尚の代に作られたもので、100年以上はゆうに経っているでしょう。この施餓鬼壇にはお檀家様の先々代やさらに前の方のお名前が刻まれており、またその方々が供養された戒名等も彫られています。「きっとこの先人の皆様は現代でも手を合わせてもらうことを喜んでおられるかな」などと思いつながりながらお施餓鬼のお勤めをしていました。さらには、福田寺は創建から今年で761年ですので、これまでに想像できない程多くの方々の思いを繋いできた歴史があることを改めて実感いたしました。

現代はご存じのように「墓じまい」や「家じまい」も少なくありません。寂しいことではありますが、時代の流れとして仕方がないことかとも思えます。一つ言えるのは、そのような時流であっても、お寺が続く限りご先祖様への供養は続くということです。福田寺という一つのコミュニティは檀信徒という仲間、地域や一般のご参拝の方々に支えられており、逆にお寺は皆様を仏法をもって導き、故人様を供養するという役割があるはずです。お互いに支え合う「縁」であり、この縁を大切に続けることが、今までお寺を支えてくださった方々への恩返しであろうと思っております。いつまでも皆様のお念仏の声が続くお寺でありたいと願っております。 合掌

4月8日は、お釈迦様の誕生日です

本年は6日(日)にお釈迦様の誕生仏に甘茶をかける「花まつり」の法要を行います。
当日は甘茶の試飲、お菓子の配布、御朱印の直書きを予定しています。
どうぞお気軽にご参加ください。



誕生仏と花飾り



4月限定御朱印